



学 校 だ よ り

12 月 号

都 筑

令 和 4 年 12 月 1 日
横 浜 市 立 都 筑 小 学 校
校 長 井 上 由 美 子

学校HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

相手を想って行動する子、都筑の子

校長 井上 由美子

校舎の周りには、十月桜のピンクの花が咲き、ゆずや柿の実が食べごろになりました。校舎3階からは、真っ白に雪をかぶった富士山が見え、冬が近いことを感じます。

今年3年ぶりに都筑区児童音楽会が開催されるので、3年生は、2曲の歌を特別に練習しました。私は音楽会前日体育館で、公会堂で歌うグループと、2年生に歌を聴いてもらうグループの発表を聞きました。2曲とも楽しさが伝わってきました。歌の最後での「レッツゴー」は、どちらのグループも元気よく声が出てポーズがきまりました。みんなで練習し、相手意識をもちステージに立って歌うことができた経験は自信につながると思います。

4年生は、愛川に体験学習に行きました。藍染にチャレンジし、満足できる作品を持ち帰ってきました。藍染での何種類もの模様の作り方をしっかり聞き、教え合って完成させた力。次に使う人のために施設のトイレや道具をきれいに使った思いやり。あいかわ公園の冒険の森で思いっきり遊び、集合時間を意識し、友達と声を掛け合って行動することができた仲間意識。このように相手を想う行動ができたと聞き、うれしく思いました。

11月30日は、「都筑英語村」を開催しました。今年度も、交流するクラスや人数の制限はありましたが、友達と一緒に自由に校舎の中を動く活動は、とても楽しかったようです。各クラスでは、学年ごとにテーマを決めてブースをつくり、店屋さんとお客さんの関係の会話をしていました。言葉がなかなか出なくて困る場面もありましたが、相手を見てジェスチャーを交えて何とか伝えていました。交流の相手が下の学年の時、「この言い方ではわからないかな。」と相手のことを考えて会話をしている子どももいました。子どもたちは、話をする相手を見て、言葉を探しながら一生懸命に会話をしていました。校舎の所々で、AET、つづきMYプラザのネイティブスピーカーや保護者ボランティアの方々にスタンプマンとして活躍していただきました。ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。相手を意識した会話ができ、人とのつながりを広げられるよい体験ができた一日でした。

さて、12月4日から10日は人権週間です。「人権」は、だれもが、安心して、豊かに、自分が自分として生き生きと生活する上で不可欠なものです。「人権」がすべての人に保障されるためには、一人ひとりが自分をかけがえのない存在として思えるようになること、さらには自分以外の人も同様にかけがえのない存在として尊重したいと実感できるようになることが必要です。そのために、「相手の気持ちになって自分のしていることを考えよう」と振り返ってみることを朝会で伝えました。都筑小のすべての子どもたちが「行きたい学校」「安心できる学校」であるために、日々の学校生活の中でがんばったことを認めたりほめたりして、自己肯定感や自尊感情を高め、他の人と関わりながら人権意識を向上させていけるよう全教職員で取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力をお願いいたします。